

### Ⅲ-3 「協働による授業づくり」の推進

協働による授業づくりを通して、児童生徒の実態に応じた授業改善、教科指導力の向上を図りましょう。

- 「子供の学びを支援する5つの提言」の趣旨を共通理解の上、継続した取組を！
- 児童生徒が「分かる」「できる」授業を目指した授業改善を！
- 教員の資質能力の向上を目指した教科指導の知識・技能の伝承を！

## 「宮城県検証改善委員会報告書」活用のススメ

＜令和5年度 テーマ＞

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて！

【主な内容】

- 子供から信頼される先生の姿、伝え合い、学び合う教員文化による授業改善、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 平成31年度から令和5年度までの調査結果から見える児童生徒の実態〈算数・数学〉
- 全国学力・学習状況調査の結果と授業づくり  
小・中学校国語、小学校算数・中学校数学、小学校外国語活動・外国語、中学校英語
- 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構想・略案作成〈国語、算数・数学〉
- 有識者による学力向上のための提言

各学校にPDFデータで配付しました。各学校において、解説動画とともに校内研修や授業づくりにご活用ください。本報告書は総合教育センターHPにも掲載されています。

Index	Page
子供の学びを支援する5つの提言 本紙に關わる URL 等	1
学校改善・授業改善	3
子供の姿を見取り、子供から信頼されることが大切で 伝え合い、学び合う教員文化は、授業改善の土台です 【個別最適な学び】と【協働的な学び】の一体的な充実 平成31年度から令和5年度までの調査結果から見える児童生徒の実態〈算数・数学〉	4
国語	7
全国学力・学習状況調査の結果（小・中学校国語）	9
小学校「読むこと」の授業づくり	11
小学校「書くこと」の授業づくり	13
中学校「書くこと」の授業づくり	15
算数・数学	17
全国学力・学習状況調査の結果（小学校算数・中学校数学）	17
小学校「図形」の授業づくり	19
小学校「数と計算」の授業づくり	21
中学校「データの活用」の授業づくり	23
英語（外国語活動、外国語）	25
全国学力・学習状況調査の結果（中学校英語）	25
外国語教育における「小中の連携」の重要性	26
中学校「聞くこと」の授業づくり	29
単元構想・学習指導案	31
単元構想・結果作成（国語）	31
単元構想・結果作成（算数・数学）	34
【提言】これから求められる算数・数学の授業づくり PartⅢ 宮城教育大学 大学院教育学研究科 准教授 市川 啓	37

### 〈子供との信頼のパイプを太くする先生の姿・チェックリスト〉

□ 良い授業のイメージを持っている。

→「そうか！分かったぞ！！」「ちょっと待って、もう少しでできそう」「どっちだ？どっちとも言えそうだ」など、良い授業には「分かる」「考えがいのある問題に取り組み」「対立意見を前にして葛藤する」といった場面があります。学ぶ喜びを味わわせてくれる先生、「必ずできるよ」と勇気付け励ましてくれる先生を子供は信頼し尊敬します。授業は子供との信頼関係を結ぶ生命線です。

□ 子供を褒めるときに、結果そのものより、子供が工夫したことやそれまでの過程に着目している。

→教師が見取るべきは、結果に至るまでの子供の思考過程や、工夫の跡です。子供が成功の予感を抱けるような目標を持たせたり、考える価値のある選択場面に子供を立たせて自己決定させたりといった場面を意図的に作りましょう。自分なりの工夫や、一生懸命考えたことを先生に認めてもらうことは、子供にとって励みになり、先生を信頼するきっかけになります。

□ 子供の様子を見取り、丁寧な言葉遣いをしている。

→「最近忘れ物が多い」「朝から表情がさえない」「汚れた服を着ている」など、授業や日常の見取りから「何かあったのかな」と気付くことがあります。また、「悩んでいることがあれば、いつでも話していいからね」という先生の言葉を待っている子供もいます。子供と話す際は、丁寧に穏やかな言葉遣いをしましょう。子供の安心感につながります。

□ 子供との約束を守っている。

→「（授業で）今度、口にするからね」「（子供の問いかけに対して）あぁ、いいよ」—こういうやり取りも、子供にとっては〈先生との約束〉です。日常の中で、気付かずに子供とたくさんの約束をしていませんか？子供は先生との約束を覚えているものです。小さな約束であっても、子供と交わした約束は大切にしましょう。もし約束どおりできないときは、「今日はできなかったけど、明日の〇〇の時間でやろうね」などと、代わりとなる提案をすることが大切です。

□ 子供がどのようなことを大切にしているか、把握している。

→子供には、大切にしている「自分の世界」があります。それは趣味や家族、夢、憧れ、時に空想など様々です。自分が大切にしている世界を、先生も大切にしてくれるのは、子供にとってうれしいことです。授業中の発言、日常の会話などから、子供がどのようなことを大切にしているかキャッチすることができます。

ポイント 単元における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び	協働的な学び
<p>〈指導の個別化〉 教科書、情報端末、副教材等、自ら選んだ方法で故事成語について調べたり、故事と自分が体験した出来事と結び付けた紹介文を書いたりする。</p>	<p>〈学習の個性化〉 故事成語と自分の体験とを結び付けながら、故事成語について興味・関心を深め、広げる。</p>
	<p>〈協働的な学び〉 互いの体験談と故事成語の結び付きについて、文章の起承転結での構成等の観点で助言し合い、自分の文章の良い点や改善すべき点に気付く。</p>

1 時間単位での個別最適な学びと協働的な学びの例  
小学校 第1学年 算数「繰り下りの引き算」



情報端末に直接、考えを書く



ブロックを使って考え、情報共有するためカメラ機能を使う



共有機能を使って、友達の考えを見たり、比較したりする



疑問に思ったことを友達と考える



集団で考えを共有する

ポイント 個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

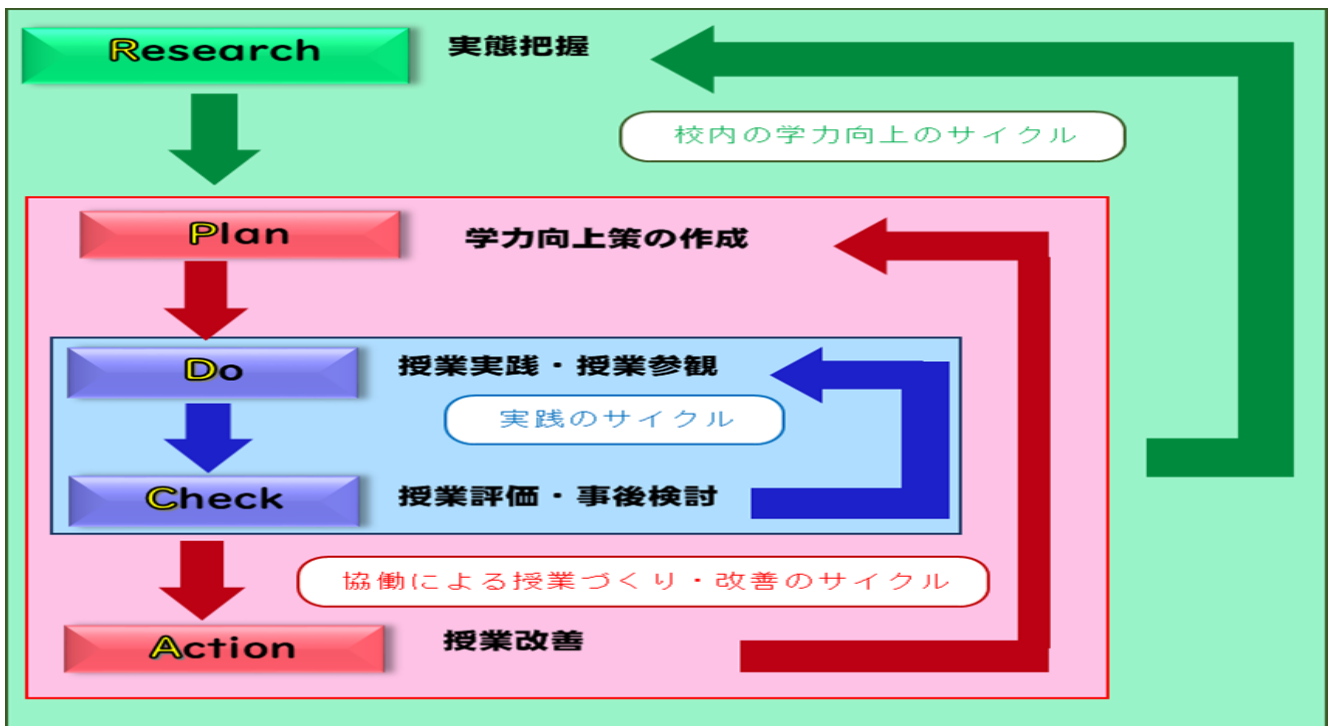
- ・デジタルノート
- ・カメラ機能
- ・共有機能
- ・スライド機能
- ・共同編集機能

【令和5年度 宮城県検証改善委員会報告書より】

## 全国学力・学習状況調査問題を授業改善に活用しましょう。

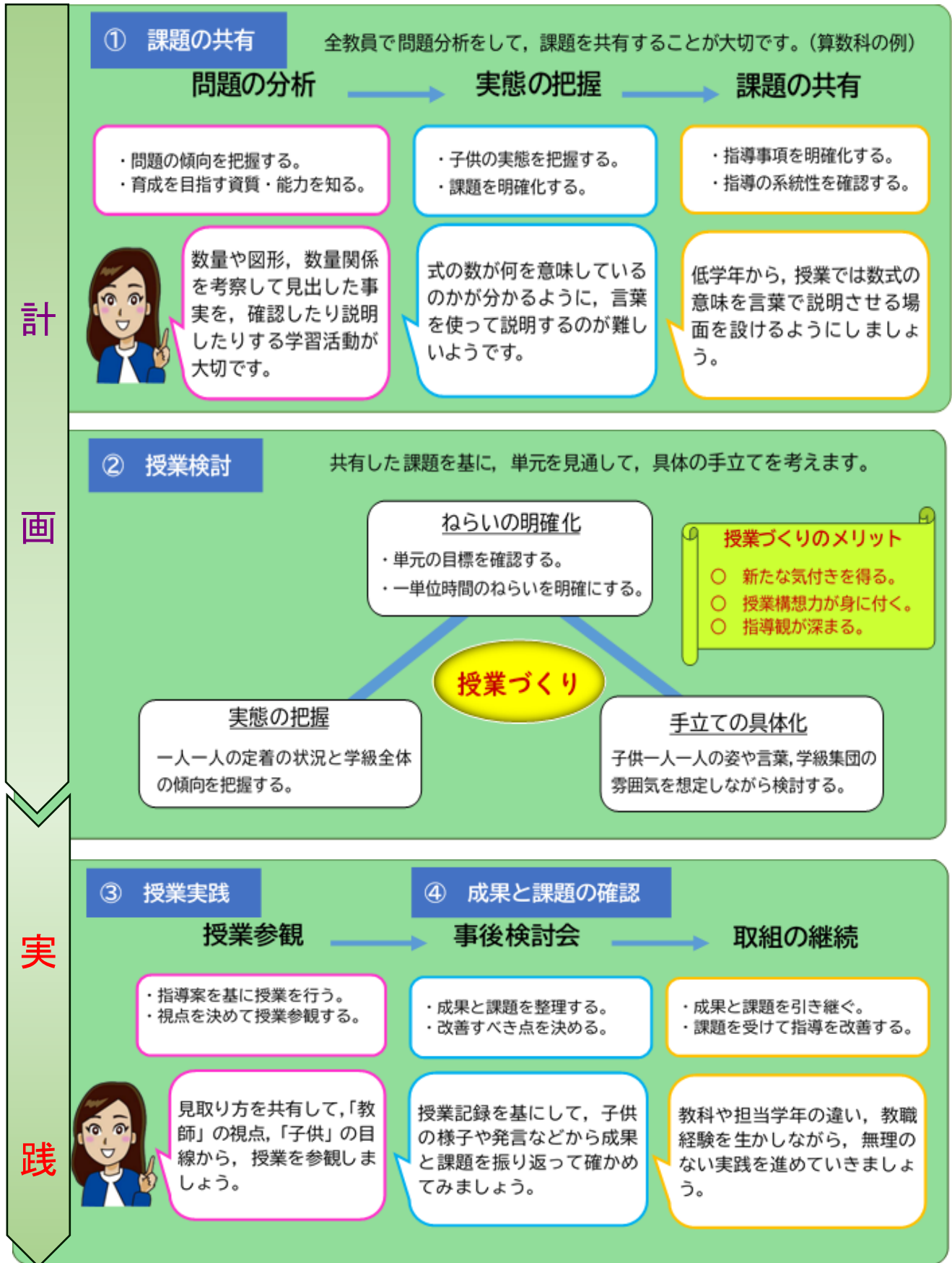
子供の学びにつながる授業づくりを進めるために、授業改善・学力向上の「PDCA」サイクルを確立しましょう。そのためには、全国学力・学習状況調査や各種学力調査の結果を分析し、実態把握「R」することが大切です。

学力向上に向けた「PDCA」サイクルの実効性を高めるために、個人レベルでの実践、学年部・教科部会などでの協働による取組を推進しましょう。



【令和元年度 宮城県検証改善委員会報告書より】

# 協働による授業づくり — 授業改善の取組のポイント —



【令和2年度 宮城県検証改善委員会報告書より】

各教科等の「学習指導要領（平成29年告示）解説」「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」をお読みいただき、改訂の趣旨を理解した上で、授業づくりを行っていきましょう。